

福岡空港調査PI(ステップ3) 実施計画

～ 幅広い市民参加に向けて ～

福岡空港の総合的な調査
ステップ3:「評価の視点と検討すべき対応案」

平成19年5月

福岡空港調査連絡調整会議

<http://www.fukuokakuko-chosa.org/>

はじめに

福岡空港については、平成14年12月に国土交通省交通政策審議会航空分科会の答申において、「既存ストックの有効活用方策」、「近隣空港との連携方策」、「中長期的な観点からの新空港、滑走路増設等を含めた抜本的な空港能力向上方策」等について、幅広い合意形成を図りつつ、国と地域が連携し、総合的な調査を進める必要があると位置づけられました。

これを受けて、国と地域（福岡県、福岡市）において平成15年度から連携・協力して「総合的な調査」を進めているところです。この調査にあたっては、空港利用者も含めた幅広い市民等のみなさんに対し、積極的に情報を提供するなど透明性を確保し、市民等のみなさんと情報や多様な認識を共有して進めていくことが重要であることから、市民等のみなさんに情報を提供し、幅広くご意見を収集していく「パブリック・インボルブメント（P I）」を導入することとし、「福岡空港の総合的な調査に係る情報提供及び意見収集のあり方」（P I 計画）を平成16年6月に決定し公表しました。

この計画にもとづき、平成17年度は、「福岡空港の現状と課題」「空港能力の見極め」についてのP I（ステップ1）を実施しました。平成18年度は、「地域の将来像と福岡空港の役割」「将来の航空需要の予測」についてのP I（ステップ2）を実施し、ステップ3に進むことを決定しました。

本実施計画は、P I（ステップ3）「評価の視点と検討すべき対応案」を対象とするもので、平成16年9月に実施したP I実施計画作成にあたってのアンケートや、これまでのP Iに寄せられたご意見、福岡空港調査P I有識者委員会（第三者機関）の助言などを踏まえ、懇談会やオープンハウスの充実、双方向性も考慮した催しについて検討し、策定しました。

みなさんにおかれましては、今回のP I（ステップ3）に積極的にご参加の上、たくさんのご意見をお寄せいただくようお願いいたします。

平成19年5月

福岡空港調査連絡調整会議

目 次

福岡空港調査PI(ステップ3) 実施計画

1	福岡空港調査P I（ステップ3）実施計画策定にあたっての基本方針	1
2	対象とするステップと目標	3
3	実施時期および期間	4
4	提供する情報内容	5
5	情報提供および意見収集の方法（P I 手法）	6
6	寄せられたご意見の取扱い	8
7	P I の終了	9
8	本実施計画策定について	10

＜資料＞	P I 手法の概要	16
------	-----------	----

＜参考＞	1 「福岡空港の総合的な調査に係る情報提供及び意見収集のあり方」（PI計画）の概要	
	2 福岡空港の総合的な調査の概要	
	3 P I（ステップ1）の概要	
	4 P I（ステップ2）の概要	
	5 福岡空港調査P I 有識者委員会規約	
	6 本実施計画に係る福岡空港調査P I 有識者委員会の評価書	
	7 関係機関のホームページ、情報提供窓口等	

福岡空港調査P I (ステップ3) 実施計画

- ・この福岡空港調査P I (ステップ3) 実施計画は、「福岡空港の総合的な調査に係る情報提供及び意見収集のあり方」(以後「P I 計画」という) にもとづき、P I (ステップ3) のP I の方法等を明らかにするための計画です。

➤ P I (パブリック・インボルブメント) とは

- ・市民等を対象に施策の内容等について情報提供、意見収集を行い、地域のニーズにあったより良い施策の選定とその施策に対する意思決定を支援するプロセス

1 福岡空港調査P I (ステップ3) 実施計画策定にあたっての基本方針

- 十分な周知広報を実施します。
- 多様で適切なP I手法を選定します。
- わかりやすい情報の提供を実施します。
- 寄せられたご意見とそれに対する考え方を公表します。
- 中立・公正なP Iを実施します。
- 適切な時間管理に努めます。

(1) 十分な周知広報の実施

- ・P Iの実施にあたっては、福岡空港の重要性、影響範囲の大きさ等から幅広く、多くの市民等のみなさんにP Iの実施について知っていただくことが必要です。
- ・周知広報の充実については、これまでのP Iにおいてもご意見をいただいております、今回のP Iの実施にあたっても留意します。

(2) 多様で適切なP I手法の選定

- ・P I参加者が参加しやすい方法で実施します。
- ・P I (ステップ3) の検討内容、P Iの目標に合わせた多様で適切な情報提供と意見収集の手法を選定します。
- ・市民等のみなさんのニーズにあった手法を選定します。

※ P Iの実施状況等により見直すなど柔軟に対応します。

(3) わかりやすい情報の提供

- ・P I (ステップ3) で提供する情報は、福岡空港の課題解決に向けた検討すべき対応案や、それらを評価する視点の情報など、専門的、技術的な情報が含まれる

ことから、市民等のみなさんにわかりやすくとりまとめ、P I レポートとして提供します。

- ・とりまとめのもととなった調査等情報についても、参考資料としてP I レポート詳細版を提供します。

(4) 寄せられたご意見等の公表

- ・寄せられたご意見については、個人が特定できる情報を除いて集約し、P I (ステップ3) の内容に照らしてどのように対応するかなど、福岡空港調査連絡調整会議がP I 実施主体としての考え方も併せてとりまとめ、公表します。

(5) 中立・公正なP I の実施

- ・P I の実施に関し、「P I の開始時」「P I 実施期間内」「P I の終了時」など、P I のプロセスにおいて、福岡空港調査P I 有識者委員会（第三者機関）の監視、評価・助言を受けます。
- ・福岡空港調査P I 有識者委員会の評価や助言については、誠実に対応します。これらについても福岡空港調査連絡調整会議のホームページで公表します。

(6) 適切な時間管理

- ・P I (ステップ3) の内容、目標等を勘案し、迅速な情報提供、意見収集、時機を失しない判断など、適切な時間管理に努めます。

2 対象とするステップと目標

- **本実施計画は、検討プロセスのP I（ステップ3）「評価の視点と検討すべき対応案」を対象とします。**
- **P I（ステップ3）では、検討すべき対応案と対応案を評価する視点について情報を共有し、ご意見を十分に把握することを目標とします。**

- ・ 今回のP Iは、総合的な調査の段階を踏んだ検討の第3ステップ「評価の視点と検討すべき対応案」に対応するものです。
- ・ このP I（ステップ3）は、検討すべき対応案とそれら进行评估する視点といった福岡空港の課題解決のための方向性（案）を検討する際に必要となる情報を、市民等のみなさんと共有し、ご意見を十分に把握することを目標とします。

（想定される論点）

- ・ 今後検討すべき対応案は適切に示されているか？
- ・ どのような視点で対応案进行评估すべきか？

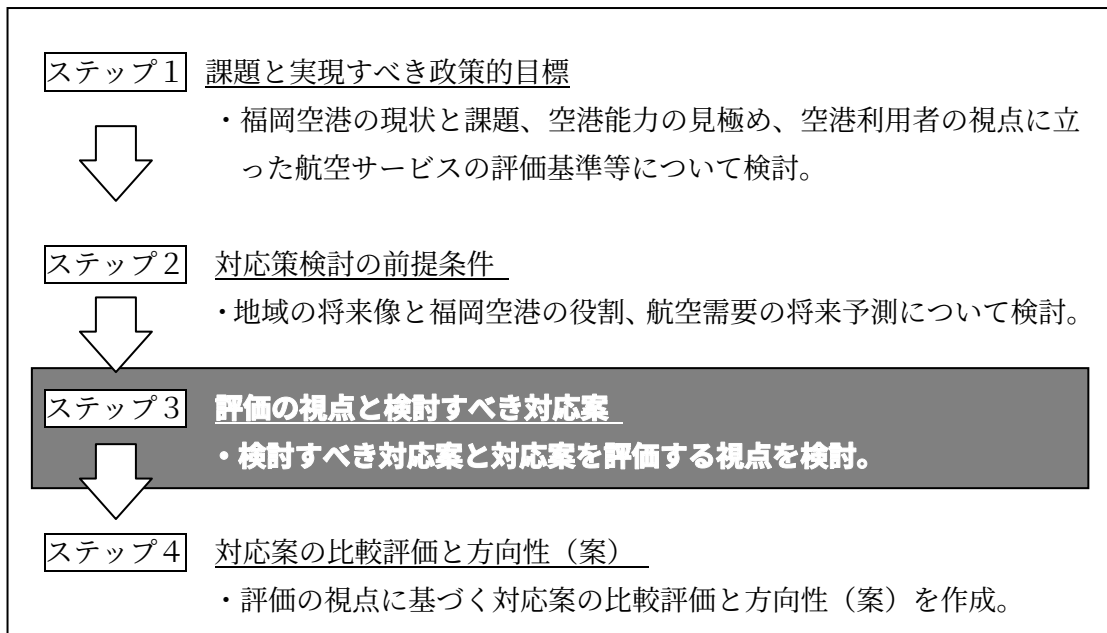


図 対象とするステップ

3 実施時期および期間

- **PI（ステップ3）は、平成19年度に実施します。**
- **PIの実施期間は、概ね4ヶ月程度を目安とします。**

（1）実施時期

- ・PI（ステップ3）は、調査等情報が整理され、準備が整い次第、平成19年度に実施します。
- ・具体的な開始時期等については、準備状況等を総合的に勘案し、福岡空港調査連絡調整会議において決定し、公表します。

（2）実施期間等

- ・たくさんのご意見を頂くためには、市民等のみなさんの関心と参加が得られやすいよう一定期間に高い密度の情報提供等を集中して実施することが必要であること等から、PIの実施期間は4ヶ月程度を目安として実施します。
- ・開始時期は、福岡空港調査連絡調整会議の決定を経て、ホームページに提供情報等を公開し、または、提供情報であるPIレポート等の配布を開始する時期とします。
- ・PIの終了は、情報提供、意見収集、ご意見とPI実施主体の考え方の公表、福岡空港調査PI有識者委員会（第三者機関）の評価などを経て、福岡空港調査連絡調整会議で決定し、公表します。

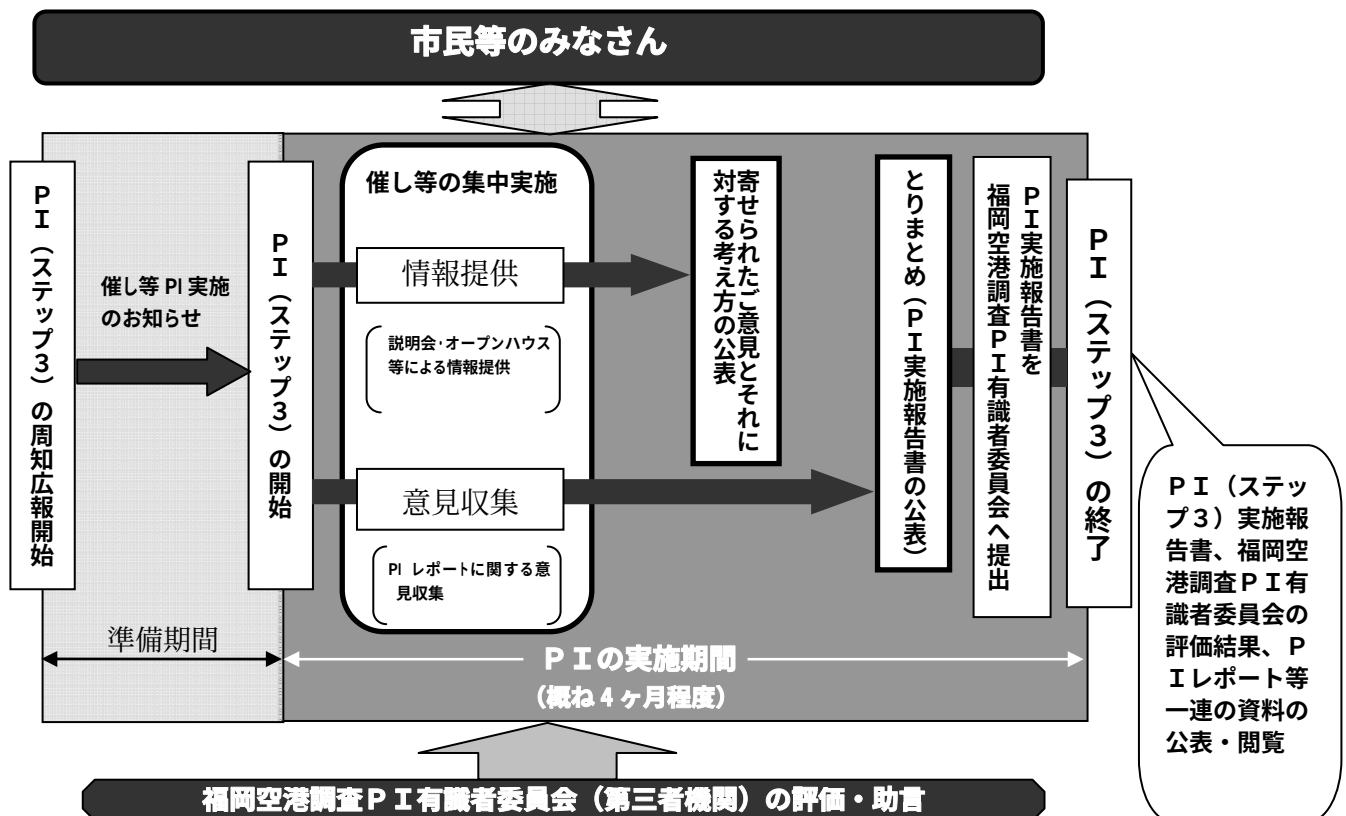


図 PI（ステップ3）の進め方イメージ

4 提供する情報内容

- 検討すべき対応案と対応案を評価する視点について、情報提供します。
- 情報は、P I 実施主体（福岡空港調査連絡調整会議）においてP Iレポートとしてとりまとめ、市民等のみなさんにわかりやすい形で提供します。
- P Iレポートのもとになった調査等情報についても、P Iレポート詳細版にとりまとめ、参考資料として提供します。

- ・ P I（ステップ3）では、方向性（案）を検討するために必要となる事項である「検討すべき対応案」「対応案を評価する視点」について検討情報を提供します。
- ・ 提供する情報は、P I実施主体（福岡空港調査連絡調整会議：以下同じ）においてわかりやすくとりまとめ、P Iレポートとして提供します。
- ・ P Iレポートのもとになった調査等情報についても、P Iレポート詳細版にとりまとめ、参考資料として提供します。
- ・ P I参加者のご意見や、福岡空港調査P I有識者委員会（第三者機関）の助言等により、追加や補足の資料とりまとめを行った場合には、これについても公表します。

表 提供情報

提供情報	情報の内容
●検討すべき対応案は？	○「近隣空港との連携」、「現空港における滑走路増設」、「新空港建設」といった将来の対応案について、検討情報を提供します。
●対応案を評価する視点は？	○対応案を比較評価するための評価の視点について、検討情報を提供します。

5 情報提供および意見収集の方法（P I手法）

- P Iの開始に先立ち、十分な周知広報を実施します。
- 情報を容易に入手でき、ご意見を表明できるP I手法を実施します。
- P I参加者は、空港利用者をはじめ福岡県民、福岡市民など幅広い市民等のみなさんを想定します。

（１）P I実施に関する周知・広報

P Iの開始にあたっては、事前に実施の概要を

- ・ 関係行政機関の広報手段による広報 ・ 報道機関への情報提供
- ・ 各種メディアでの告知 ・ ホームページへの掲載

等により、幅広くお知らせします。

（２）情報提供および意見収集の方法

- ・ 市民等のみなさんから幅広くご意見をいただけるよう、情報をわかりやすい形で提供します。
- ・ 市民等のみなさんが様々な手法により、容易に情報を入手でき、ご意見を表明できるような情報提供・意見収集の方法を工夫します。
- ・ なお、P I手法については、実施状況を見ながら柔軟に対応します。

（３）想定するP I参加者

- ・ 福岡空港の広域性、影響範囲の大きさ等から、幅広い市民等のみなさんの参加を想定し、ホームページ等の活用により、県域、住所や空港利用の有無に関わりなく情報を提供して、ご意見を収集します。
- ・ 空港や駅での資料配布、ホームページの活用等により、市民等のみなさんが幅広く参加できるよう留意します。

（想定するP I参加者）

- ・ 福岡空港の周辺地域住民およびその関連自治体
- ・ 福岡県民、福岡市民
- ・ 福岡空港利用者（居住地等にかかわらずありません）
- ・ 県内地方自治体
- ・ 福岡空港の利用企業、航空会社、空港・航空関連企業
- ・ 地元経済団体
- ・ 福岡空港に関心を有する国内外の個人および団体
- ・ その他

※ 具体的な情報提供・意見収集の方法等は、次ページ参照。

表 ステップ3のPI手法と実施期間

手法				PI参加者				
				●福岡県民 ●福岡市民 ●福岡空港 の周辺地域 住民および 関連自治体	●空港利用 者	●県内地方 自治体	●空港利用 企業、航空 会社、空港 航空関連企 業、地元経 済団体	●福岡空港 に関心を有 する国内外 の個人およ び団体
周知・ 広報	・関係行政機関の広報手段等各種メディアによる広報 ・ホームページへの掲載 ・報道機関への情報提供			○				
PIレポートに 関する情報提供・ 意見収集	PIレポートの配布	PIレポートを配布する	・インフォメーションコーナーや公共機関の情報窓口 等に設置 ・説明会や出前説明会、懇談会、公開懇話会、オープ ンハウス、見学会、意見発表会等参加者への配布 ・ホームページに掲載 ・県内外の主要駅等や大学での街頭配布	○	○	○	○	○
	PIレポート詳細版 の配布	PIレポート詳細版を配布する	・インフォメーションコーナーや公共機関の情報窓口 等に設置 ・説明会や出前説明会、懇談会、公開懇話会、オープ ンハウス、見学会、意見発表会等参加者への配布 ・ホームページに掲載	○	○	○	○	○
	インフォメーション コーナー	福岡空港PIに関する総合的な情報提 供を行い、意見収集を行う	・福岡空港、福岡県庁、福岡市役所、九州地方整備局 (博多港湾・空港整備事務所)に設置	○	○	—	—	○
	HPへの情報掲載	PI実施主体のホームページに情報を 掲載し、意見収集を行う	—	○	○	○	○	○
	説明会	PIレポートの内容についての説明会 を開催し、意見収集を行う	・福岡市、福岡地域、北九州地域、筑後地域、筑豊地 域にて開催	○	○	—	—	○
	出前説明会	PIレポートの内容についての説明を 行い、意見収集を行う	・各地域の市民講座など各種の集まりにおいて要望に 応じ実施 ※国、県、市の類似要項に準ずる	○	—	○	○	○
	懇談会	PIレポートの内容について懇談し、意 見収集を行う	・空港利用企業、航空会社、空港・航空関連企業、地元 経済団体、福岡空港に関心を有する市民団体との懇談 会を開催（業界などのカテゴリー別に開催）	○	—	—	○	○
	公開懇話会	PIレポートの内容について様々な分 野の方に公開の場で議論いただき、 意見収集を行う	・懇談会に参加いただいている市民団体や空港関係企 業などのメンバーから参加を募り、様々な分野を横断し たメンバーによる公開の懇話会を開催	○	—	—	○	○
	オープンハウス	PIレポートの内容についての展示や 説明を行い、意見収集を行う	・福岡市、福岡地域、北九州地域、筑後地域、筑豊地 域、その他の地域にて開催	○	○	—	—	○
	見学会	空港の現状や利用状況等について見 学会を開催し、意見収集を行う	・福岡空港等で開催	○	○	—	—	○
	意見発表会	PI（ステップ3）のテーマに関する意見 発表の場を設ける	・福岡市内で開催	○	○	○	○	○
寄せられたご意見と考 え方の公表		・「寄せられたご意見とそれに対する 考え方」を公開、配布する	・国、福岡県、福岡市の情報窓口やインフォメーション コーナー、ホームページ、市町村の窓口への設置等	○	○	○	○	○

準備 期間	実施期間 (4ヶ月程度)				
	PI手法の集中実施				
PI （ステップ3）の周知広報	PI （ステップ3）の開始	PI （ステップ3）の開始	寄せられたご意見と考 え方等の公表	最終的なとりまとめ	PI （ステップ3）の終了
	集中配布	集中配布	情報窓口等での設置	情報窓口等での設置	
	集中配布	集中配布	情報窓口等での設置	情報窓口等での設置	

は、意見提出期間を指す。

6 寄せられたご意見の取扱い

- 寄せられたご意見は、「寄せられたご意見とそれに対する考え方」として、とりまとめ公表します。
- 寄せられたご意見や福岡空港調査P I有識者委員会（第三者機関）の助言により追加や補足資料のとりまとめを行う必要がある場合は、迅速に対応し、ホームページ等で公表します。

（１）ご意見およびご意見に対する考え方等の公表

- ・説明会、懇談会等の催しについては、実施結果の概要をとりまとめ、ホームページに掲載することとし、発言された主なご意見等は、個人等に関わる情報を除いて実施結果の概要に含め、公表します。
- ・P I レポート等提供情報に関し、予めお示しする期間内に寄せられたご意見については、「寄せられたご意見とそれに対する考え方」としてとりまとめ公表いたします。
- ・最終的なご意見の提出期限については、この「寄せられたご意見とそれに対する考え方」公表後のご意見の状況等を踏まえ、ホームページ等でお知らせいたします。
- ・寄せられたご意見は、P I（ステップ3）実施報告書にとりまとめ、公表します。

（２）追加および補足のとりまとめ

- ・寄せられたご意見については、P I 実施主体の構成機関において随時共有し、追加や補足の資料とりまとめが必要と判断される場合は、迅速に対応し、公表します。
- ・福岡空港調査P I 有識者委員会の助言によって追加や補足資料のとりまとめが必要な場合も、速やかに対応し、公表します。

7 P Iの終了

- P I実施主体として当初の目標が達成されたかどうか、まず判断します。
- P I実施主体として当初の目標が達成されたと判断した場合は、P I（ステップ3）実施報告書を取りまとめ、福岡空港調査P I有識者委員会（第三者機関）に提出し、評価や助言を受けます。
…このP I（ステップ3）実施報告書および福岡空港調査P I有識者委員会の評価や助言についても公表します。
- 福岡空港調査P I有識者委員会の評価や助言を踏まえ、P I（ステップ3）を継続するか、終了するかを総合的に判断し、公表します。

（1）目標達成の判断

- ・ 提供した情報の周知や意見集約の状況などについて、P Iの実施を通して把握し、目標が達成されたかどうかを総合的に判断します。

表 判断する際の考え方の例

視点	考え方(例)
情報が市民等に十分に周知されたか。	・ 提供した情報が広く市民等に伝わったか。
市民等から幅広くご意見が収集されているか。	・ 県民、市民、空港利用者、企業など、幅広いみなさんからご意見が寄せられているか。

（2）P I（ステップ3）実施報告書の作成と提出

- ・ 目標を達成したと判断される場合には、P Iの実施状況、寄せられたご意見とそれに対する考え方などをとりまとめたP I（ステップ3）実施報告書を速やかに作成し、公表するとともに福岡空港調査P I有識者委員会に提出します。

（3）福岡空港調査P I有識者委員会の評価や助言とその公表

- ・ 提出したP I（ステップ3）実施報告書は、福岡空港調査P I有識者委員会によって内容が評価され、必要に応じ助言がなされます。
※福岡空港調査P I有識者委員会は、評価に際し、必要がある場合は、P I実施主体に実施関係資料の提出を求め、また、ヒアリングすることなどができます。
- ・ P I（ステップ3）実施報告書に関する評価や助言については、公表します。

（4）P I（ステップ3）の終了と結果の公表

- ・ P I実施主体は、福岡空港調査P I有識者委員会の評価や助言を踏まえ、P Iを継続するか、終了するかどうかを総合的に判断し、その判断結果を速やかに公表します。

8 本実施計画策定について

本実施計画は、平成16年6月に策定した「福岡空港の総合的な調査に係る情報提供及び意見収集のあり方」を基本とし、平成16年9月に実施した「福岡空港の総合的な調査に係るP I実施計画」作成にあたっての意見収集アンケートの結果を踏まえ、これまでのP Iでいただいた「P Iに関するご意見」および福岡空港調査P I有識者委員会（第三者機関）の助言を参考として作成しました。

- ・ P I の取り組みについて

P I に関する広報強化や多くの人が参加しやすい催しについてのご要望をいただいております。これを踏まえて、P I（ステップ3）では、周知広報の取り組みと併せて双方向性も考慮した市民みなさんの関心を高めるような催しを取り入れることとします。

- ・ P I の催し等について

P I の催し等については、ご意見をお寄せいただいた方のうち、約3～4割の方が催しに参加いただいております。その評価として、「満足」「ほぼ満足」「普通」とお答えいただいた方が、半数を超えておりますが、さらに拡充を望まれるご意見もあることから、懇談会やオープンハウス、出前説明会等の活動を充実させることを検討します。

- ・ P I レポート等について

P I レポートは、「わかりやすかった」「普通」と答えられた方が全体の約7～8割を占め、概ね理解しやすい内容であったと考えられますが、一方で、記述されたご意見の中には、わかりにくい、また、内容を充実すべき等のご意見や偏向的ではないかとのご意見も寄せられており、P I レポートの作成にあたっては、さらにわかりやすく、見やすくするなどの工夫をいたします。また、P I レポートのもとになった調査等情報についても、参考資料としてP I レポート詳細版を提供します。詳細版は数が限られるため、閲覧方法や入手方法について、ホームページ、国、福岡県、福岡市の情報提供窓口等でご紹介することとします。

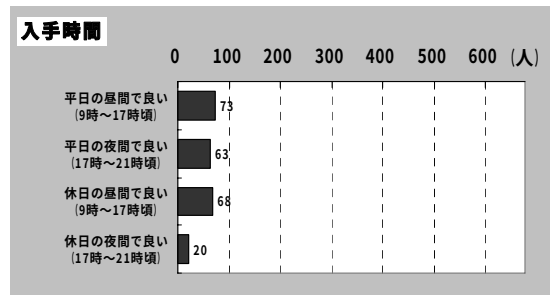
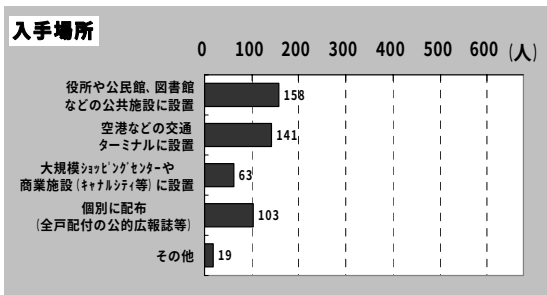
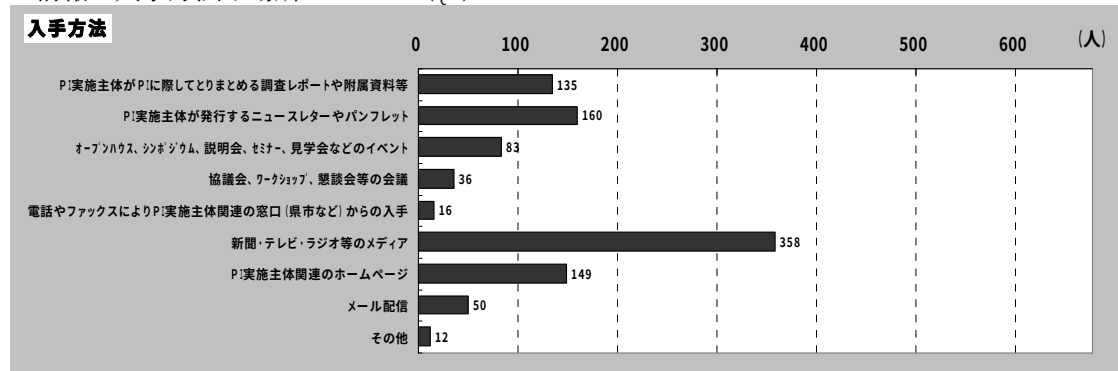
P I レポートの配布に際しては、ご意見が提出しやすいよう、わかりやすく、記載しやすい意見記入はがきを添付します。

参 考 1：「福岡空港の総合的な調査に係るP I実施計画」作成にあたっての 意見収集アンケートの概要

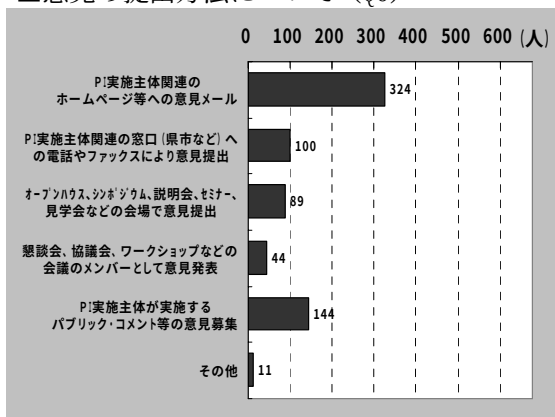
実施期間	2004 年 9 月 29 日～10 月 18 日 (Web20 日)
配布方法	郵送、空港・駅等での配布、県市情報提供窓口、市町村への配布、福岡空港連絡調整会議関係機関 HP による Web アンケート等
回収方法	郵送、Web、街頭聞き取り、ファックス
回収数	677 名

アンケートの集計結果 (P I 実施関係)

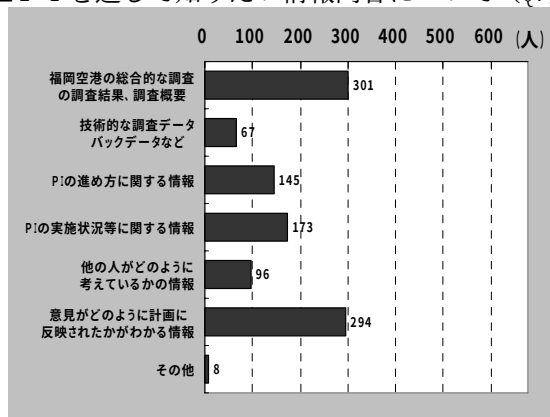
■情報の入手方法や場所について (Q5)



■意見の提出方法について (Q6)



■P I を通じて知りたい情報内容について (Q7)

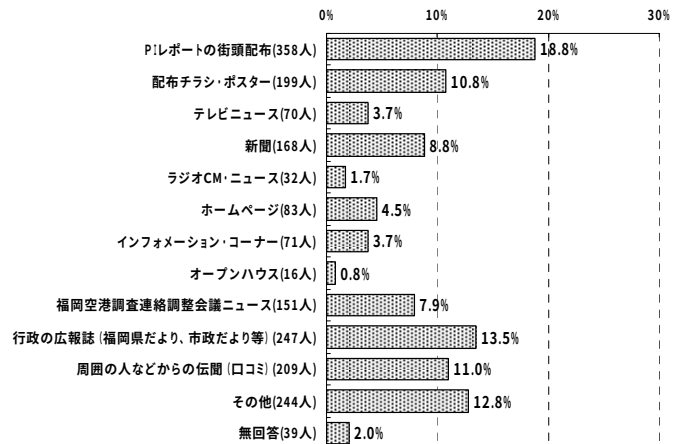


※なお、本意見収集アンケート概要については、平成 16 年度第 2 回福岡空港調査連絡調整会議資料として公表済

参 考 2 : P I (ステップ1) で寄せられた「P Iに関するご意見」の概要

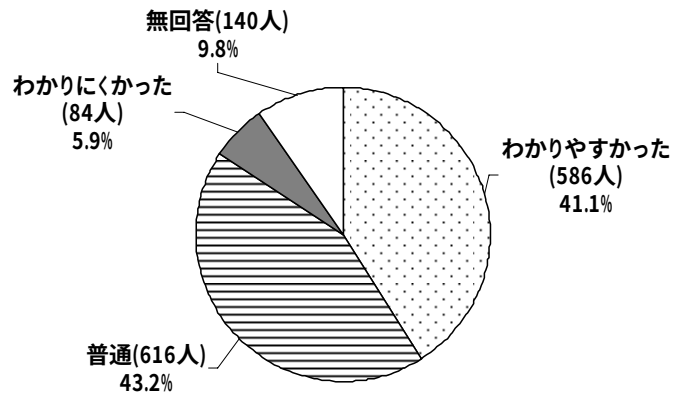
○今回のP I (ステップ1) が行われていることをどのような形でお知りになりましたか。

多様なメディアを介してP Iについて周知されており、P I (ステップ1) で実施した手法は、いずれも効果があったと考えられます。特に「P I レポートの街頭配布」「配布チラシ・ポスター」が、全体の3割近くを占めており、この手法についてはステップ2でも実施していくこととしています。



○P I レポートはわかりやすかったですか。

「わかりやすかった」「普通」を答えた方で全体の8割強を占め、概ね理解しやすい内容であったと考えます。



○参加した催しは何ですか (グラフ左)、またその印象はいかがでしたか。 (グラフ右)

催しに参加された方は、全体の約3割の方ですが、その評価として、「満足」「ほぼ満足」「普通」とお答えいただいた方が、86%に達しており、概ね適切であったと考えられます。

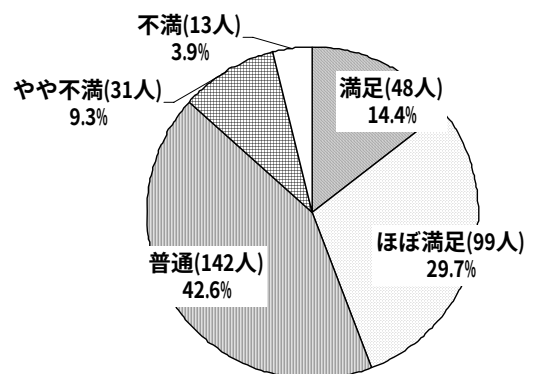
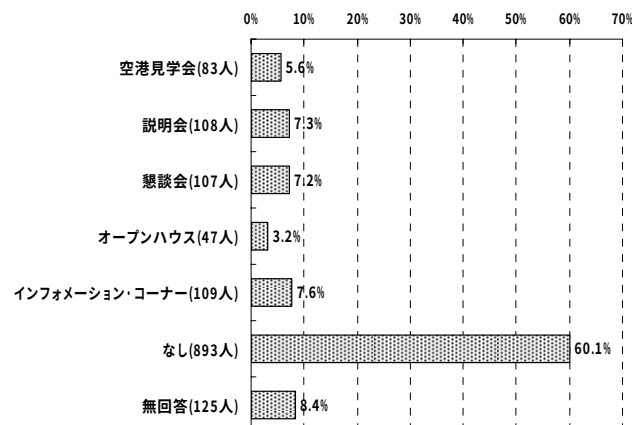


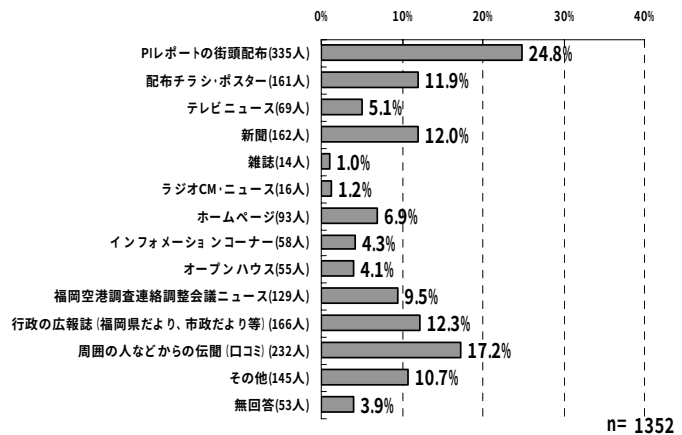
表 P I（ステップ1）で寄せられた「P Iに関するご意見」の概要と意見に対する考え方

内容		意見に対する考え方
PIの取り組みを評価する意見、PRの強化や催し充実などへの意見など、肯定的な意見が多く寄せられました。一方、PIの取り組みやPIレポートについて偏っているのではないかと、意見、レポートがわかりにくいなどの意見、時間管理をしっかり行うべきとの意見もありました。		PIについては、透明性、公正さを基本に、実施しています。今後、検討の段階、ステップに応じて、PIを実施することになりますが、皆様からの意見を踏まえつつ進めて参りたいと考えます。また、PIレポートは、客観的な資料、データに基づき、整理、分析し作成しており、レポート作成に係る調査報告等についても、福岡空港調査連絡調整会議のホームページ等で公開し、透明性を確保しながら作成しています。今後、PIレポート等はよりわかりやすい内容とするよう工夫するとともに、皆様の一層の信頼が得られるよう努力して参ります。
1.PIの取り組みに対する意見	168 件	1 福岡空港の総合的な調査に係るPIは、透明性、公正さを確保しながら、幅広く皆様に情報を提供し、それに対する皆様の意見を検討に反映していくことを目的として実施しています。また、福岡空港の総合的な調査の進め方に関しても、審議の過程や調査報告等をホームページで公開するなどしています。PIへの取り組みの評価や取り組みについての広報等への意見を踏まえつつ、今後も工夫し、皆様の期待に応えられるよう、また、適切な時間管理のもと進めて参ります。
今後の取り組みに期待する等の意見	76 件	
PIの取り組みへの懐疑的な意見	23 件	
時間管理に関する意見	15 件	
PIの取り組みの広報強化などに関する意見	54 件	
2.PIの催し等に関する意見	68 件	2 PIの催し等については、PIの各ステップの内容に合わせ、多くの皆さんが参加しやすい方法を選定し、各ステップ毎に実施計画としてとりまとめ、公表することとしています。今後の実施計画の作成に当たって意見を参考とさせていただきます。
催しの評価や拡充のための提案などの意見	64 件	
PIを縮小、やめるべきとの意見	4 件	
3.PIレポートに対する意見	174 件	3 PIレポートについては、わかりやすさを旨としてとりまとめているますが、内容が広範にわたることからパンフレット版以外にその詳細版を、福岡空港連絡調整会議のホームページ、福岡県、福岡市の情報窓口、福岡空港などのインフォメーションコーナー等でご覧いただくようにしています。今後も、情報が皆様にわかりやすく伝わるよう努力していきたいと考えます。また、今回のPIレポートの内容については、「福岡空港の現状と課題」、「空港能力の見極め」について、客観的な資料、データに基づき、整理、分析しています。このレポートの作成に係る調査報告等についても、福岡空港調査連絡調整会議のホームページ等で公開しており、内容の取りまとめに関してもオープンに進めています。今後、より一層の皆様の信頼が得られるよう努力して参ります。
興味深いとされるなどの意見	53 件	
偏向的ではないかと、意見	56 件	
わかりにくい、また、内容を充実すべき等の意見	65 件	
4.その他	44 件	—

参 考 3 : P I (ステップ2) で寄せられた「P Iに関するご意見」の概要

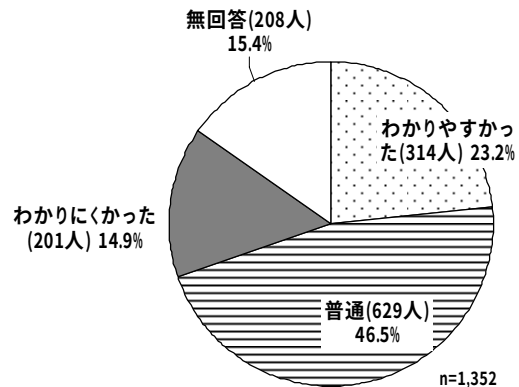
○今回のP I (ステップ2) が行われていることをどのような形でお知りになりましたか。

伝聞なども含め多様なメディアを介してP Iについて周知されており、P I (ステップ2) で実施した手法は、いずれも効果があったと考えられます。特に「P Iレポートの街頭配布」と「配布チラシ・ポスター」が、全体の3割強を占めており、引き続きステップ3でもこの手法を実施していくこととしています。



○P Iレポートはわかりやすかったですか。

「わかりやすかった」「普通」と答えた方で全体の約7割を占め、概ね理解しやすい内容であったと考えます。



○参加した催しは何ですか (グラフ左)、またその印象はいかがでしたか。(グラフ右)

催しに参加された方は、全体の約4割の方ですが、その評価として、「満足」「ほぼ満足」とお答えいただいた方が全体の3割、「普通」まで加えると6割を超えており、概ね適切であったと考えられます。

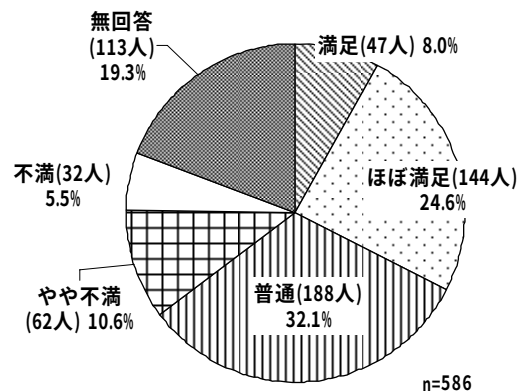
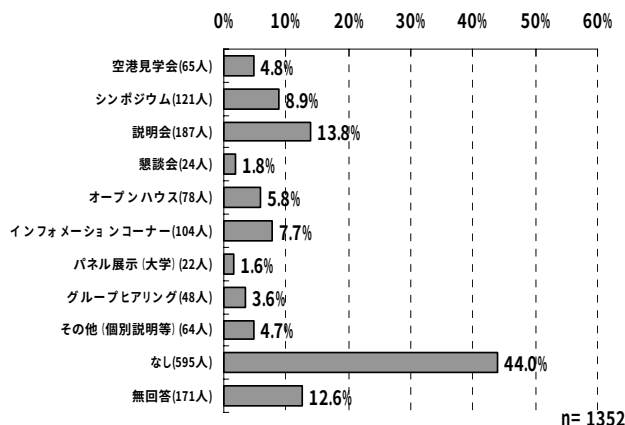


表 P I（ステップ2）で寄せられた「P Iに関するご意見」の概要と意見に対する考え方

概要		意見に対する考え方
P Iの取り組みを評価する意見、PRの強化や催し充実などへの意見、取り組みやP Iレポートが偏っているのではないかと意見、P Iレポートがわかりにくいなどの意見がありました。		P Iについては、透明性、公正さを基本に実施しています。今回のP Iでは、前回のステップ1でみなさんからいただいた意見等を踏まえ、広報の強化、県外（佐賀県）におけるオープンハウスの開催、英語版P Iレポートの作成など、その内容を充実させたところです。今後もステップに応じて、P Iを実施していくことになりますが、その際には、みなさんからの意見を踏まえつつ進めて参りたいと考えております。 また、P Iレポートについては、わかりやすく作成することとしておりますが、内容が広範かつ専門分野にわたることから、P Iレポートとりまとめにかかるデータや、参考事例などをとりまとめた詳細版を併せて作成し、みなさんに公開していくこととしております。今後ともわかりやすい内容になるよう工夫していくとともに、みなさんから一層の信頼が得られるよう努力して参ります。
1.P Iの取り組みに対する意見	86件	1. 福岡空港の総合的な調査に係るP Iは、透明性、公正さを確保しながら、幅広くみなさんに情報を提供し、それに対するみなさんの意見を検討に反映していくことを目的として実施しています。また、福岡空港の総合的な調査の進め方に関しても、審議の過程や報告の内容等をホームページで公開するなどしています。P Iへの取り組みの評価や取り組みに関する広報等への意見を踏まえつつ、今後も工夫し、みなさんの期待に応えるとともに一層の信頼を得られるよう、適切な時間管理のもと進めて参ります。
2.P Iの催し等に関する意見	37件	2. P Iの催し等については、P Iの各ステップの内容に合わせ、多くのみなさんが参加しやすい方法を選定し、各ステップ毎に実施計画として取りまとめ、公表することとしていますが、今後とも実施計画の作成にあたっては、いただいた意見を参考とし、工夫して参りたいと考えております。
3.P Iレポートに対する意見	139件	3. P Iレポートについては、わかりやすさを旨としてとりまとめていますが、内容が広範かつ専門分野にわたることからP Iレポートのほか、P Iレポートとりまとめにかかるデータや、参考事例などをとりまとめた詳細版を作成し、ホームページや福岡県、福岡市の情報窓口、インフォメーションコーナーに配架するなどして公開しております。今後ともみなさんの信頼を得られるよう、透明性を確保しつつ、また、わかりやすくお伝えできるよう努力して参りたいと考えております。
4.その他	23件	-

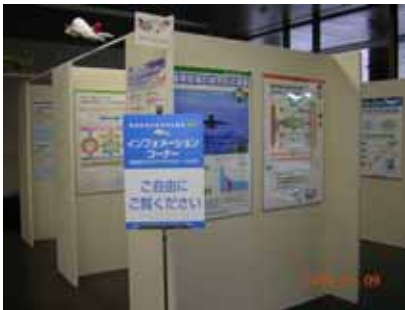
＜資料＞

PI手法の概要

(1) P I レポート

①概要	提供情報を、文章や写真でわかりやすく印刷物として製作し、市民等に広く配布。
②目的	P I の実施状況や調査等のレポートなど関連する情報を広く市民等に伝える。
③手法の特徴	- 福岡空港の総合的な調査に関する調査結果を文章やグラフ、写真等でわかりやすくまとめて提供。 - P I 参加者等への配布、ホームページへの掲載、関係行政機関の公共施設等での陳列等により市民等に情報提供。 - 情報の要点をわかりやすく把握できるとともに、幅広い市民等に配布可能であり、確実な情報提供が可能。また、印刷物として手元に残すことも可能。
④参加者	全ての市民等。
⑤提供する情報	総合的な調査に関する調査結果全般。
⑥主な実績	P I レポート（ステップ1）  P I レポート  P I レポート詳細版 P I レポート（ステップ2）  P I レポート  P I レポート詳細版  P I レポート英語版

(2) インフォメーションコーナー

①概要	・ 情報提供・収集のための常設の施設。
②目的	・ P I および関連する調査等の結果をわかりやすく伝える。 ・ 市民等からの信頼度を高めること。
③手法の特徴	・ 市民等と行政スタッフがフェイス・ツー・フェイスのコミュニケーションを行うことで、信頼関係を高めることが可能。
④参加者	・ 施設へ直接来訪できる市民等。
⑤提供する情報	・ P I に関わる情報。 ・ P I レポートに関する情報など。
⑥主な実績	P I （ステップ2）のインフォメーションコーナー  福岡空港  福岡県庁  福岡市役所

(3) ホームページ

①概要	インターネット上にホームページを開設し、これを活用して関連する情報を提供。
②目的	最新情報を迅速にかつ広範囲(全世界)に提供。
③手法の特徴	- 広範で範囲の特定が困難な市民等に対する情報提供手法として有効な手法。 - 市民等は、情報を迅速に得ることができ、精度の高い（ボリュームの多い）情報も入手可能。さらにビジュアル表現によりわかり易い情報を得ることができる。 - 返信メールアドレスを明示することで双方向コミュニケーションが容易に実現。
④参加者	市民等に加え、関連する全ての人が対象。
⑤提供する情報	P I に関するすべての情報（調査等の情報を含む）。
⑥主な実績	福岡空港調査連絡調整会議ホームページ http://www.fukuokakuko-chosa.org/ 

(4)説明会

①概要	調査等の情報をP I 実施主体が説明し、市民等からこれに対する質問や意見を受ける公式の場として開催。												
②目的	公式にP I 実施主体が市民等に対して、調査等の情報を提供する。												
③手法の特徴	- 正確な情報を伝えることが可能。 - 説明会のみで市民等と十分にコミュニケーションするためには、他の対話手法と組み合わせて用いることが必要。												
④参加者	全ての市民等。												
⑤提供する情報	P I レポートに関する情報。												
⑥主な実績	P I （ステップ2）の説明会 実施結果 <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催場所</th><th>開催日</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アクロス福岡(福岡市)</td><td>平成 18 年 7 月 26 日</td></tr> <tr> <td>北九州国際会議場(北九州市)</td><td>平成 18 年 7 月 25 日</td></tr> <tr> <td>のがみプレジデントホテル(飯塚市)</td><td>平成 18 年 8 月 1 日</td></tr> <tr> <td>くすみホール(久留米市)</td><td>平成 18 年 8 月 9 日</td></tr> <tr> <td>まどかびあ(大野城市)</td><td>平成 18 年 8 月 10 日</td></tr> </tbody> </table>  アクロス福岡  まどかびあ	開催場所	開催日	アクロス福岡(福岡市)	平成 18 年 7 月 26 日	北九州国際会議場(北九州市)	平成 18 年 7 月 25 日	のがみプレジデントホテル(飯塚市)	平成 18 年 8 月 1 日	くすみホール(久留米市)	平成 18 年 8 月 9 日	まどかびあ(大野城市)	平成 18 年 8 月 10 日
開催場所	開催日												
アクロス福岡(福岡市)	平成 18 年 7 月 26 日												
北九州国際会議場(北九州市)	平成 18 年 7 月 25 日												
のがみプレジデントホテル(飯塚市)	平成 18 年 8 月 1 日												
くすみホール(久留米市)	平成 18 年 8 月 9 日												
まどかびあ(大野城市)	平成 18 年 8 月 10 日												

(5) 出前説明会

①概要	・ 各地域の市民講座など各種の集まりにおいてご要望に応じて説明会を開催する。									
②目的	・ P I 実施主体が市民等のご要望に合わせて、調査等の情報を提供する。									
③手法の特徴	・ 説明会と同様の特徴に加え、市民等のご要望に合わせて開催するため、参加者が集まりやすく、意見の活発な発言も得られやすい。									
④対象者	・ 全ての市民等									
⑤提供する情報	・ P I レポートに関する情報。									
⑥主な実績	P I （ステップ 2）の出前説明会（その他説明会） 実施結果 <table><tr><td>開催場所</td><td>開催回数</td><td>開催日</td></tr><tr><td>学校等</td><td>2 回</td><td>平成 18 年 7 月 12、9 月 12 日</td></tr><tr><td>その他</td><td>9 回</td><td>平成18 年 8 月 18 日～9 月 22 日</td></tr></table>	開催場所	開催回数	開催日	学校等	2 回	平成 18 年 7 月 12、9 月 12 日	その他	9 回	平成18 年 8 月 18 日～9 月 22 日
開催場所	開催回数	開催日								
学校等	2 回	平成 18 年 7 月 12、9 月 12 日								
その他	9 回	平成18 年 8 月 18 日～9 月 22 日								

(6) 懇談会

①概要	・ 関連事業者や市民、各種の団体、有識者など特定のカテゴリの関係者と意見交換を行い、情報の共有等を図る。															
②目的	・ 情報を提供し、特定のカテゴリ層の意見や論点を顕在化させること。															
③手法の特徴	・ 十分に情報提供し、議論することにより、相互の理解を深めることができる。 ・ 参加者の属性に応じて設置することで、参加者が発言しやすい環境を創出する。															
④対象者	・ 関連する事業者や関心を持つ市民、各種の団体（市民団体等も含む）、専門知識を有する有識者など。															
⑤提供する情報	・ P I レポートに関する情報。															
⑥主な実績	P I（ステップ 2）の懇談会 実施結果 <table><tr><th>対象者</th><th>開催回数</th><th>開催日</th></tr><tr><td>空港利用企業等</td><td>6 回</td><td>平成 18 年 7 月 21 日～8 月 3 日</td></tr><tr><td>空港周辺住民等</td><td>4 回</td><td>平成 18 年 7 月 18 日～8 月 8 日</td></tr><tr><td>市民団体</td><td>1 回</td><td>平成 18 年 7 月 24 日</td></tr><tr><td>空港周辺自治体</td><td>1 回</td><td>平成 18 年 8 月 2 日</td></tr></table>  福岡市役所での開催  福岡市役所での開催	対象者	開催回数	開催日	空港利用企業等	6 回	平成 18 年 7 月 21 日～8 月 3 日	空港周辺住民等	4 回	平成 18 年 7 月 18 日～8 月 8 日	市民団体	1 回	平成 18 年 7 月 24 日	空港周辺自治体	1 回	平成 18 年 8 月 2 日
対象者	開催回数	開催日														
空港利用企業等	6 回	平成 18 年 7 月 21 日～8 月 3 日														
空港周辺住民等	4 回	平成 18 年 7 月 18 日～8 月 8 日														
市民団体	1 回	平成 18 年 7 月 24 日														
空港周辺自治体	1 回	平成 18 年 8 月 2 日														

(7)公開懇話会 ※新規

①概要	・ 関連事業者や市民団体など、懇談会参加者から参加を募り、分野を越えて、P I レポートの内容について意見交換及び議論を行う。
②目的	・ 様々な意見や考え方について情報を共有するとともに、公開の場とすることで、それらについて市民等に情報発信する。
③手法の特徴	・ 多様な意見を持つ参加者が公開の場で意見交換、議論することにより、参加者相互の意見・考え方についての理解を深めることができる。 ・ 参加者の多様な意見を取りまとめ公表する。
④対象者	・ 関連する事業者や関心を持つ市民団体、各種の団体、また必要により専門知識を有する有識者など。 ・ 原則として、懇談会参加者の中から参加を募り、様々な分野を横断したメンバーにより構成する。
⑤提供する情報	・ P I レポートに関する情報。

(8)オープンハウス

①概要	- パネルの展示やパンフレット等資料の配布(場合により、図面、写真、模型、ビデオを用いた解説)により、市民等が参加しやすい時間帯に情報を提供する場を設ける。 - 市民等は担当の行政スタッフに対して質問し、コメントカードやアンケートによって意見を述べる事が可能。																
②目的	- 市民等が、参加しやすい環境のもと、とりまとめられたPIレポート等に関する正確な情報を提供する。 - 会議形式の行事に抵抗感を有する市民等に機会を提供し幅広く情報提供する。																
③手法の特徴	説明会など大勢の前で発言することに抵抗感を有する市民等も参加しやすい。 市民等は、都合の良い時間に立ち寄り、必要な情報を得ることが可能。																
④参加者	全ての市民等。																
⑤提供する情報	- PIに関わる情報。 - PIレポートに関する情報など。																
⑥主な実績	PI（ステップ2）のオープンハウス 実施結果 <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催場所</th><th>開催日</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>三越ライオン広場(福岡市)</td><td>平成18年7月20、21日</td></tr> <tr> <td>リバーウォーク北九州(北九州市)</td><td>平成18年7月24、25日</td></tr> <tr> <td>THE MALL 春日(春日市)</td><td>平成18年7月29、30日</td></tr> <tr> <td>福岡東サティ(糟屋郡志免町)</td><td>平成18年9月16、17日</td></tr> <tr> <td>イオンショッピングタウン穂波(飯塚市)</td><td>平成18年7月29、30日</td></tr> <tr> <td>ゆめタウン久留米(久留米市)</td><td>平成18年8月10、11日</td></tr> <tr> <td>イオンショッピングタウン大和(佐賀県佐賀市)</td><td>平成18年7月22、23日</td></tr> </tbody> </table>  三越ライオン広場  リバーウォーク北九州	開催場所	開催日	三越ライオン広場(福岡市)	平成18年7月20、21日	リバーウォーク北九州(北九州市)	平成18年7月24、25日	THE MALL 春日(春日市)	平成18年7月29、30日	福岡東サティ(糟屋郡志免町)	平成18年9月16、17日	イオンショッピングタウン穂波(飯塚市)	平成18年7月29、30日	ゆめタウン久留米(久留米市)	平成18年8月10、11日	イオンショッピングタウン大和(佐賀県佐賀市)	平成18年7月22、23日
開催場所	開催日																
三越ライオン広場(福岡市)	平成18年7月20、21日																
リバーウォーク北九州(北九州市)	平成18年7月24、25日																
THE MALL 春日(春日市)	平成18年7月29、30日																
福岡東サティ(糟屋郡志免町)	平成18年9月16、17日																
イオンショッピングタウン穂波(飯塚市)	平成18年7月29、30日																
ゆめタウン久留米(久留米市)	平成18年8月10、11日																
イオンショッピングタウン大和(佐賀県佐賀市)	平成18年7月22、23日																

(9) 見学会

①概要	市民等が、検討の対象となる地域や施設を直接訪問し、現状や関連する調査結果について説明を聞くための催し。				
②目的	現地を見ることで、空港についての市民等の関心を高める。				
③手法の特徴	地域や施設の実情を直接訪問することで、市民等が理解を深めることができる。				
④参加者	関心、参加意識が高い市民等。				
⑤提供する情報	見学対象となる地域や施設に関する情報。				
⑥主な実績	P I（ステップ2）の福岡空港見学会 実施結果 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>開催回数</td><td>開催日</td></tr> <tr> <td>4回</td><td>平成18年8月5日～27日</td></tr> </table>  福岡空港ターミナル屋上から航空機の運航状況を見学 (ステップ2)	開催回数	開催日	4回	平成18年8月5日～27日
開催回数	開催日				
4回	平成18年8月5日～27日				

(10)意見発表会 ※新規

①概要	・ 一般市民等が、福岡空港の将来方策や評価の視点など、ステップ3に関わる事項について、自らの意見を発表するとともに、一般参加者も含めた討論を行う催し。
②目的	・ 福岡空港の総合的な調査に高い関心を有する市民等が自らの意見やアイデアを広く公表する機会を設け、総合的調査に対する関心喚起と情報浸透を行う。
③手法の特徴	・ 市民相互間のコミュニケーションが促進され、関心が喚起される。
④参加者	・ 意見発表者は、事前に公募により決定。 ・ 当日の一般参加は、すべての市民等が参加可能。
⑤提供する情報	・ 市民等が作成した意見やアイデアなど

＜参考＞

- 1 「福岡空港の総合的な調査に係る情報提供及び意見収集のあり方」（P I計画）の概要
- 2 福岡空港の総合的な調査の概要
- 3 P I（ステップ1）の概要
- 4 P I（ステップ2）の概要
- 5 福岡空港調査P I有識者委員会規約
- 6 本実施計画に係る福岡空港調査P I有識者委員会の評価書
- 7 関係機関のホームページ、情報提供窓口等

1 「福岡空港の総合的な調査に係る情報提供及び意見収集のあり方」（P I計画）の概要

P I計画（平成16年6月策定）は、福岡空港の将来の混雑問題などについて調査する「総合的な調査」にあたって、パブリック・インボルブメント（P I）の手法を導入し、みなさんの意見を検討に反映していくための基本的な考え方を示したものです。その内容について以下に概説します。

（1）福岡空港の総合的な調査

福岡空港の総合的な調査は、

- ・既存ストックの有効活用方策
- ・近隣空港との連携方策
- ・中長期的な観点からの新空港、滑走路増設等を含めた抜本的な空港能力向上方策

などの調査を通じ、考えられる様々な対応方策の中から、今後講ずべき施策の組合せ等の選択肢を示す方向性（案）を作成するものです。

これは、多様な対応方策の選択肢について、地域のニーズ等を踏まえて、幅広く調査・検討するものであり、候補地を選定する構想段階や事業実施の前提となる計画を決める施設計画段階以前の「調査段階」に位置付けられます。

（2）総合的な調査の実施に当たっての基本方針

総合的な調査の実施に当たっては、

- ・福岡空港の重要性、影響範囲の大きさ・多面性。
- ・これまでの取り組みにおける市民等とのコミュニケーションの不足。
- ・公共事業全般に求められている透明性の確保と説明責任の遂行。

などから、関係行政機関が政策の方向性の形成・決定を行うに当たっては、その過程で市民等と情報の共有を図りつつ、意見を十分に収集し反映していくことが重要です。

（基本方針）

- 情報公開にとどまらない積極的な情報提供の実施。
- 市民等との多重多層のコミュニケーションに基づき、市民等に関かれた進め方での調査検討の実施。
- 市民等のニーズ・意見を収集し、総合的な調査に適切に反映できる手法の導入。

(3) 総合的な調査に係るP Iについて

① P Iの基本的な考え方

- 全体の進め方を明確にし、市民等と共有。
- 基本的なところから段階を踏んだ検討とそれに連動したP Iの実施。
- 市民等にとってわかりやすく、公正さを担保できる体制の確保。

② 方向性(案)検討のステップと検討のステップに連動したP Iの実施

- ・ 福岡空港の総合的な調査においては、その内容等を踏まえ、「課題と実現すべき政策的目標」「対応策検討の前提条件」「評価の視点と検討すべき対応案」「対応案の比較評価と方向性(案)」の4つのステップで検討します。
- ・ P Iは、検討の各ステップに対応して実施し、市民等の皆様の意見を検討に反映します。

4つのステップを踏んで検討を進め、方向性(案)を作成します。

ステップ1 課題と実現すべき政策的目標



- ・ 福岡空港の現状と課題、空港能力の見極め、空港利用者の視点に立った航空サービスの評価基準等について検討します。

ステップ2 対応策検討の前提条件



- ・ 航空需要の将来予測、地域の将来像と福岡空港の役割について検討します。

ステップ3 評価の視点と検討すべき対応案



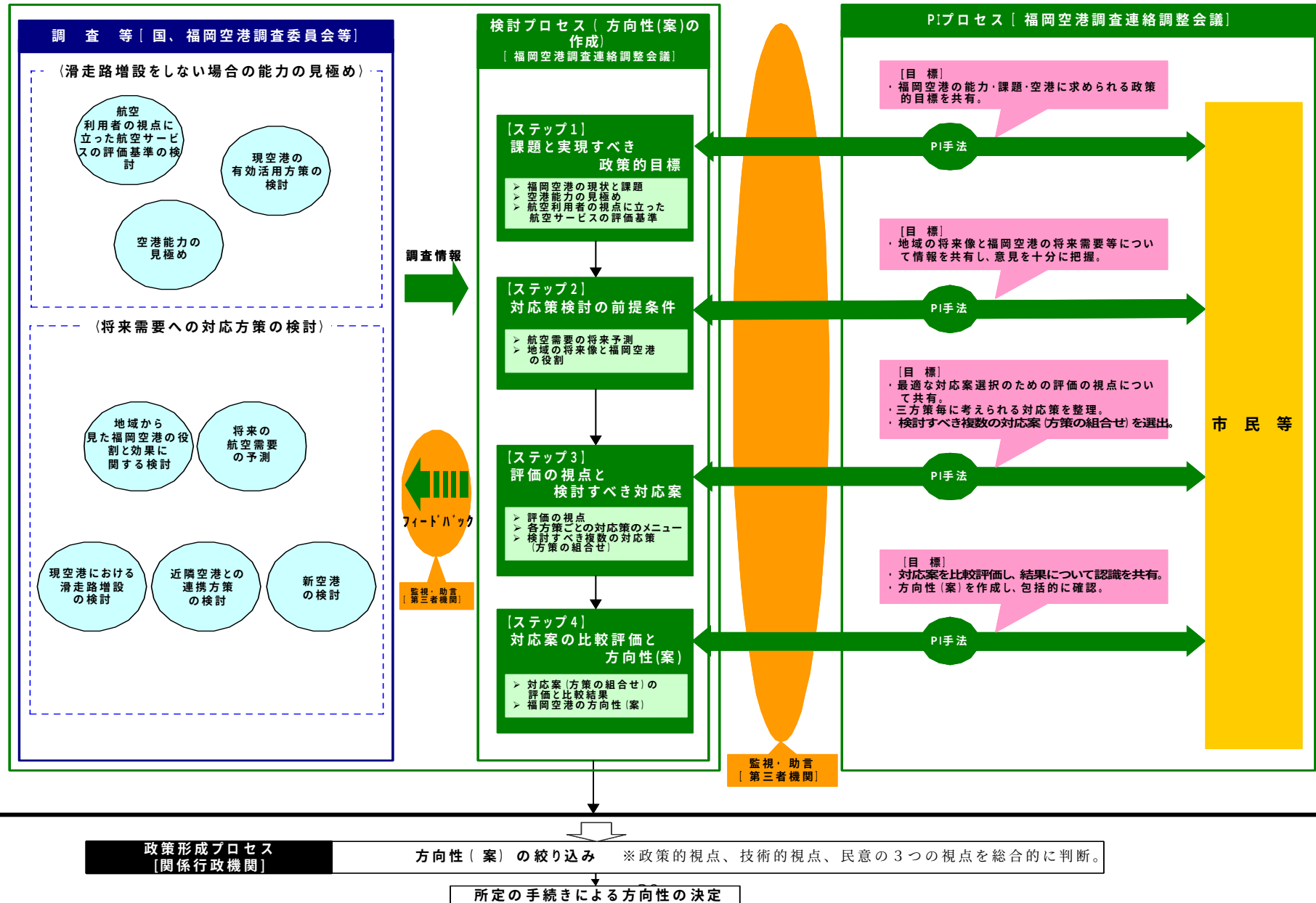
- ・ 検討すべき対応案と対応案を評価する視点を検討します。

ステップ4 対応案の比較評価と方向性(案)

- ・ 評価の視点に基づく対応案の比較評価と方向性(案)を作成します。

図 方向性(案)検討の4つのステップ

総合的な調査の開始



③ 実施体制

P I にかかる実施体制は、P I を実施する機能、方向性（案）を作成する機能、P I を監視し、助言を行う機能、各種調査を実施する機能の4つにより構成されます。

- ・ このうち、「P I を実施する機能」、「方向性（案）を作成する機能」は、福岡空港調査連絡調整会議が担うものとします。
- ・ 「P I を監視し、助言を行う機能」を担う第三者機関（福岡空港調査 P I 有識者委員会）を設置します。

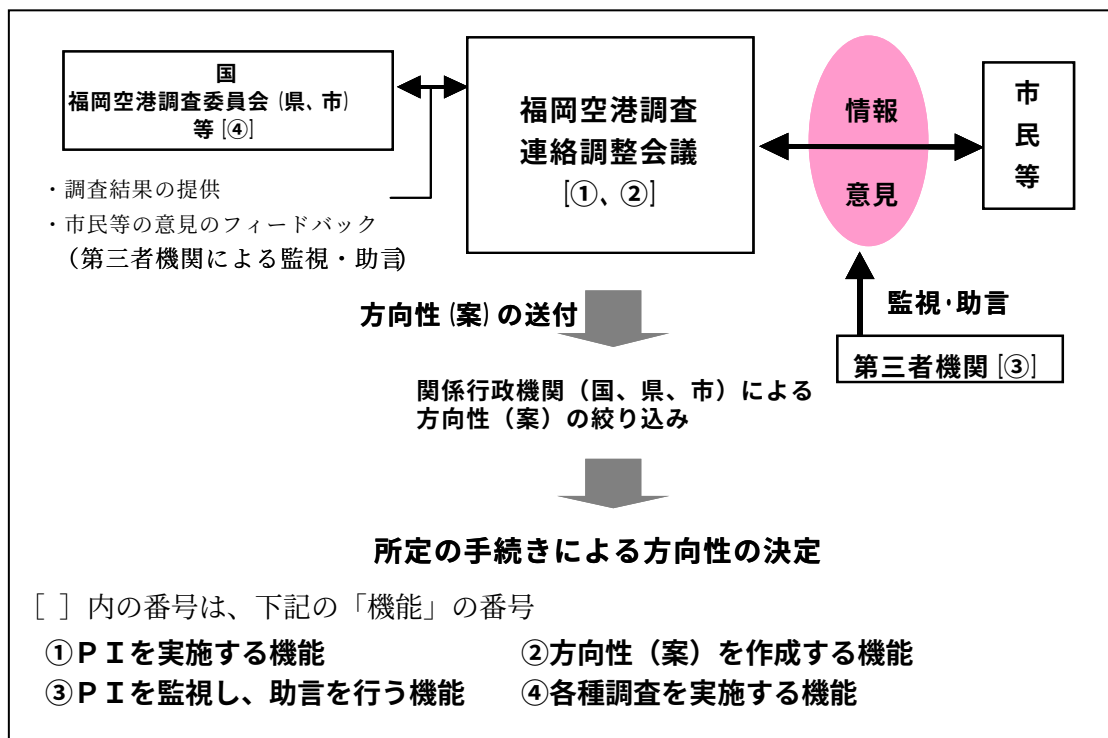


図 実施体制

④ P I 手法

- ・ 各ステップでの検討内容にあわせて、多様かつ適切な手法により市民等との多重多層のコミュニケーションを実施します。
- ・ P I の手法は、状況に応じて見直すなど柔軟に対応します。

⑤ 情報提供

福岡空港調査連絡調整会議が情報を提供する際には、

- ・ P I 活動において各ステップに合わせて提供される情報については、市民等にわかりやすく取りまとめて提供します。
- ・ その検討材料となる情報については、P I 活動で提供される情報との区別、検討中であるなどといった情報の性格と位置付けを明確にした上で提供します。

6) P I計画の策定の経緯

- ・ P I計画の取りまとめに当たって、幅広い市民等の意見を反映することが必要と考え、平成15年11月に計画の取りまとめの方針・方向性を示した「福岡空港の総合的な調査に係る情報提供及び意見収集のあり方の検討に当たっての基本的な考え方」を公表し、意見を募集しました。
- ・ また、その上で、(案)を作成し、平成16年4月には、インターネットでの公表、小冊子の配布等、幅広く周知広報を実施し、パブリック・コメント（平成16年4月12日～5月12日：ご意見191件）を実施しました。

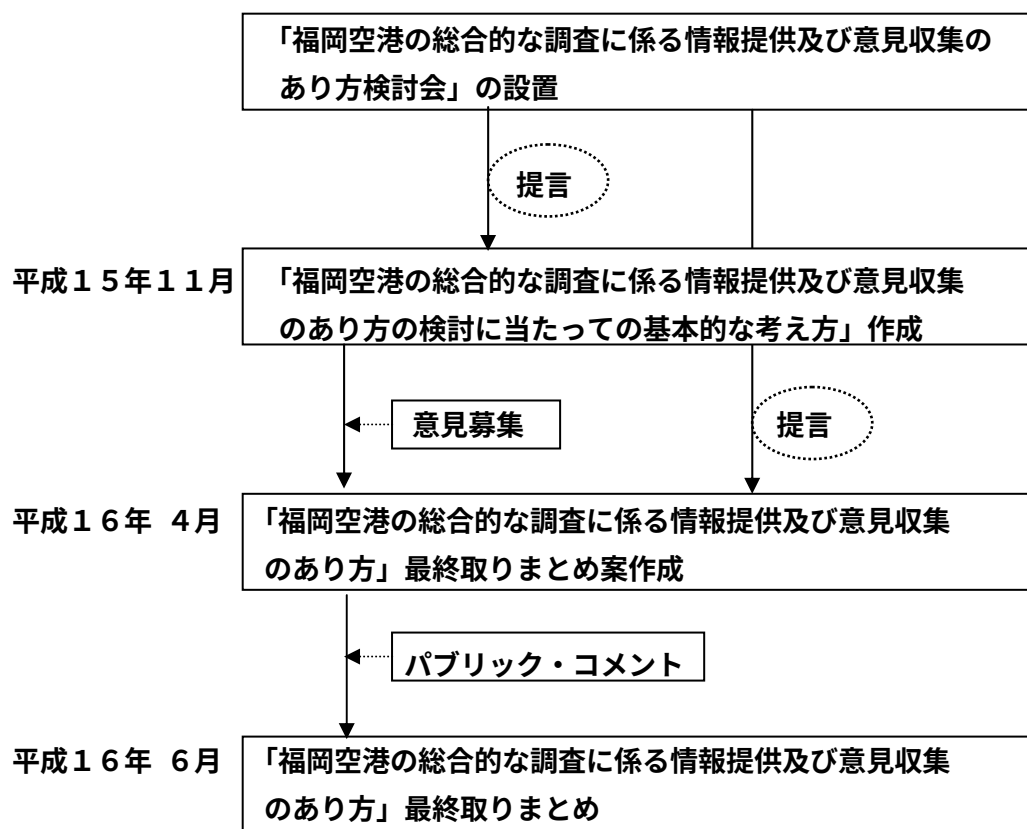


図 P I計画策定・公表の経緯

2 福岡空港の総合的な調査の概要

福岡空港の総合的な調査		
区分	国	地域
滑走路増設をしない場合の現空港の能力の見極め	航空利用者の視点に立った航空サービスの評価基準の検討	
	・空港能力の考え方の整理 ・航空サービスに係る指標及び評価方法の検討	・航空サービスの現状及び利用者ニーズの把握(☆)
	現空港の有効活用方策の検討	
将来需要への対応方策の検討	・福岡空港の需要分析と利用向上方策の抽出 ・現空港の運用実態分析と課題の抽出 ・現空港の有効活用方策の検討	・福岡空港の航空需要の特性把握(☆☆を活用) ・現空港の有効活用方策の検討
	空港能力の見極め	
	・航空サービスの評価基準による現空港の空港能力の評価と見極め	・評価のための基礎調査(☆の再整理)
将来需要への対応方策の検討	地域から見た福岡空港の役割と効果に関する検討	
	・主要地域拠点空港の役割と効果の検討	・航空の利用特性の把握(☆☆) ・空港の社会経済的役割と効果及び将来像の検討
	将来の航空需要の予測	
将来需要への対応方策の検討	・航空需要の分析 ・地域特性等を考慮した航空需要予測手法の開発と実施	・航空利用者等の現状・動向等地域特性の整理(☆☆を活用)
	近隣空港との連携方策の検討	
	・近隣空港との連携に向けた基本的な考え方の整理 ・近隣空港との連携方策の検討	・空港連携に関する事例等の収集・整理 ・近隣空港との連携方策の検討
将来需要への対応方策の検討	現空港における滑走路増設の検討	
	・滑走路増設に係る空港の計画要件の検討 ・現空港における滑走路増設の検討	・滑走路増設の資料収集・整理 ・滑走路増設に伴う影響と効果の検討
	新空港の検討	
将来需要への対応方策の検討	・空港の計画要件の検討 ・新空港の検討	・空港立地の考え方の整理 ・新空港に係る基礎検討 ・現空港用地の開発計画の検討
	とりまとめ	

3 P I（ステップ1）の概要

- P I（ステップ1）は、平成17年7月～12月まで、福岡空港の現状と課題などについて情報共有することを目的とし、周知広報活動と情報提供及び意見収集を実施しました。
- 説明会やオープンハウスなど各種催しを実施し、参加者は7,000名を超え、最終的に1,426名の方から3,115件のご意見をいただき、福岡空港調査P I有識者委員会から「P I（ステップ1）は適切なものであった」と評価されました。

（1）周知広報活動

- ・ P I実施計画に基づき、P I活動の開始前および開催期間を通じて、下表のとおり、新聞、ラジオ広告、チラシ、ポスター、行政だより、ニュースレター及びホームページでの周知広報を実施しました。
- ・ 新聞広告、ラジオ広告などメディアを活用した広報では、大手のメディアを網羅的に活用し、新聞については、5紙にのべ6回広告を掲載、ラジオについては、約5週間にわたり広告を放送するなど、広く周知するよう配慮しました。
- ・ また、チラシについては、福岡空港及び県内主要駅等計20ヶ所において、約65,000部を街頭配布しました。
- ・ 行政だよりについては、福岡県だより、ふくおか市政だよりの2種類の広報誌を活用し、福岡県だよりについては福岡県内全域、ふくおか市政だよりについては福岡市内全域を対象に全戸配布を実施しました。

表 周知広報活動

手法	実施回数 実施箇所	実施場所・実施日	冊子、チラシ、 ポスター配布数
新聞広告	のべ6回	大手5紙（読売、朝日、毎日、西日本、日経）、 全5段広告 6/26～7/13 1回×5紙 5回 1紙、全5段広告 8/15	—
ラジオ広告	のべ78本	大手3局（FM福岡、KBC、RKB）20秒広告 7/20～8/23 1本/日×25日間×3局 75本 オープンハウス会場からラジオ中継 8/19,8/23,8/26	—
チラシ街頭配布	—	・ 県内20ヶ所（福岡空港および主要駅）街頭配布 ・ 県内市町村、中学校・高等学校・大学等配布	約65,000部
ポスター配布	—	県内市町村、中学校・高等学校・大学等に配布	1,100部
行政だより配布	—	福岡県だより 2005年7月号（2005.7.1発行） ふくおか市政だより 2005年7月号（2005.7.1発行）	福岡県だより： 約200万部 市政だより： 約70万部
ニュースレター配布	—	福岡空港調査連絡調整会議ニュース 配布	520部
ホームページ	—	6/24～	9,028アクセス (7/25～10/31)

(2) P I レポートに関する情報提供及び意見収集

- ・ P I 実施計画に基づき、平成17年7月25日より、福岡空港の総合的な調査に係る P I (ステップ1) に関する情報提供及び意見収集を、下表のとおり実施しました。
- ・ 情報提供として、福岡空港及び県内主要駅等計20ヶ所において、約20,000部の P I レポート (ステップ1) 概要版を街頭配布しました。また、県内市町村、中学校・高等学校・大学等への配布や、福岡空港、福岡県庁及び福岡市役所の3ヶ所にインフォメーションコーナーを設置し、定常的な情報提供を実施し、合計約50,000部を配布しました。
- ・ 意見収集として、説明会、懇談会及びオープンハウスを開催するとともに、要望により個別説明も実施しました。

表 P I レポートに関する活動結果

手法	実施回数 実施箇所	実施場所・実施日	参加者または 資料配布数
資料配布	—	・ 県内 20 ヶ所 (福岡空港および主要駅) 街頭配布 ・ 県内市町村、中学校・高等学校・大学等配布	約 50,000 部
福岡空港 見学会	5 回	第 1 回 (8/17)、第 2 回 (8/21)、第 3 回 (9/4)、 第 4 回 (9/5)、第 5 回 (9/10)	152 人
インフォメー ションコーナ ー	3 ヶ所	○福岡空港 (8/17～) ○福岡県庁 (8/17～) ○福岡市役所 (8/17～)	4,828 人 (福岡空港、 10/31 現在)
ホームページ	—	6/24～	9,028 アクセス (7/25～10/31)
説明会	5 回	○あいれふ (8/18) ○イイヅカコミュニティセンター (8/22) ○北九州国際会議場 (8/29) ○コミセンわじろ (8/30) ○石橋文化センター (9/14)	235 人
懇談会	13 回	○交通事業者等 (9/7 アクロス福岡) ○航空関係事業者 (9/8 空港ビル) ○空港関連事業者 (9/8 空港ビル) ○利用企業等 第 1 回 (9/9 あいれふ) 第 2 回 (9/12 天神ビル) 第 3 回 (9/12 天神ビル) 第 4 回 (9/13 あいれふ) ○空港周辺住民等 第 1 回 (9/14 地元集会所) 第 2 回 (9/16 地元集会所) 第 3 回 (9/17 地元集会所) 第 4 回 (9/20 空港ビル) ○空港周辺自治体 (9/9 あいれふ) ○市民団体 (9/10 アクロス福岡)	227 人
オープンハウ ス	5 ヶ所 (2 日/ヶ所)	○天神地下街 (8/19～20) ○J R 小倉駅 (8/23～8/24) ○ダイヤモンドシティ・ルクス (8/26～8/27) ○西鉄久留米駅 (8/26～8/27) ○ジャスコ穂波店 (9/2～9/3)	1,629 人
経済団体そ の他個別説 明	4 回	○9/2 福岡市内 ○9/13 福岡市内 ○9/15 福岡市内 ○9/15 福岡市内	150 人

(3) 寄せられたご意見

- ・ ホームページやP I レポート概要版の街頭配布、インフォメーションコーナー、福岡空港見学会、説明会、懇談会、オープンハウス等の活動を通じて配布した意見記入用紙により、9月26日午前中までに1,369人の方からご意見が寄せられました。
- ・ 寄せられたご意見の概要とそれに対するP I 実施主体の考え方については、『福岡空港の総合的な調査に係るP I (ステップ1) に寄せられたご意見とそれに対する考え方』としてとりまとめ、10月14日に公表しました。
- ・ なお、最終的には、9月26日午後以降に寄せられた意見(57人、104件)を加え、『福岡空港の総合的な調査に係るP I (ステップ1)』にとりまとめております。

(4) パブリック・コメント

- ・ 寄せられたご意見を集約し、ご意見に対するP I 実施主体の考え方をとりまとめ、『「福岡空港の総合的な調査に係るP I (ステップ1) に寄せられたご意見とそれに対する考え方」に係る意見募集(パブリック・コメント)』を実施しました。
- ・ 意見募集(パブリック・コメント)では、49人の方からご意見が寄せられました。これを拝見したところ、P I 実施主体の考え方を理解していただいた上でのご意見を頂戴できたものと考えております。

(5) まとめ

福岡空港の総合的な調査に係るP I (ステップ1) の活動は、P I 実施計画(ステップ1) に則って、十分な周知広報の実施、多様で適切なP I 手法の選定、わかりやすい情報の提供を実施し、収集したご意見とそれに対する考え方を公表してパブリック・コメントを行うなど、中立、公平、適正な時間管理のもと実施できたものと考えております。

また、情報が市民等に十分に周知され、市民等から幅広くご意見が収集されたと考えられることから、P I (ステップ1) の目標は達成できたものと考えます。

なお、寄せられたご意見の中には、「将来の航空需要予測に関する意見」や「近隣空港との連携方策に関する意見」などP I (ステップ2) 以降の内容についてのご意見も多く見られました。P I (ステップ2) 以降の実施に際しては、「福岡空港の総合的な調査に係るP I (ステップ1) に寄せられたご意見とそれに対する考え方」でお示ししたとおり、今回寄せられたご意見等も踏まえ、皆さんが参加しやすく、ご意見を寄せやすいよう、さらに工夫して参りたいと考えます。

(6) 福岡空港調査P I 有識者委員会による評価・助言

次ページのとおり。

平成17年11月29日

福岡空港調査連絡調整会議 御中

福岡空港調査P I 有識者委員会
委員長 石 田 東 生

福岡空港の総合的な調査に係るP I（ステップ1）の実施結果
に関する評価等について

福岡空港の総合的な調査に係るP I（ステップ1）の実施結果について、平成17年11月18日に当委員会を開催し、平成17年11月16日に提出された「福岡空港の総合的な調査に係るP I（ステップ1）実施報告書」及び当委員会が行った実施状況把握に基づき、下記の通り評価及び助言を行うことを決定したので通知します。

記

1 評 価

P I 活動の実施については、P I 実施計画（ステップ1）に則って、十分な周知広報の実施、多様で適切なP I 手法の選定、分かりやすい情報の提供を実施し、収集した意見とそれに対する考え方を公表してパブリック・コメントを行うなど、中立、公正、適正な時間管理のもと実施できたものと認められることから、適切なものであったと評価します。

また、情報が市民等に十分に提供され、市民等から幅広く意見が収集されたと考えられることから、P I（ステップ1）の当初の目標は達成されたと評価します。

2 助 言

- 1) 周知広報について継続的な努力を行うこと。
- 2) 県外居住者や外国人などからも意見が収集できるよう検討すること。
外国語による情報提供なども検討課題。
- 3) 女性や若年層に対する情報提供等についても検討すること。
- 4) 様々な意見の方が相互にコミュニケーションを図ることも大事であり、そのための方法について検討することが必要。また、説明会や懇談会において多様な意見が出るような議事進行等の工夫を行うこと。
- 5) 福岡空港について市民等に興味を持ってもらうような手法を検討すること。
- 6) 「意見とそれに対する考え方」について、効率的なP I 実施という視点を踏まえながら、その着実な実施を検討すること。

4 P I（ステップ2）の概要

- P I（ステップ2）は、平成18年7月～12月まで、地域の将来像と福岡空港の役割や将来の航空需要の予測について情報共有することを目的に、周知広報活動やP Iレポートによる情報提供及び意見収集を実施しました。
- 説明会やオープンハウス等の各種催しやステップ2の新たな取り組みであるシンポジウム等を実施し、参加者は10,000人を超えました。また1,352人の方から3,921件のご意見をいただき、福岡空港調査P I有識者委員会から「P I（ステップ2）は適切なものであった」と評価されました。

（1）周知広報活動

- ・ P I(ステップ2)実施計画に基づき、P I活動の開始前及び開催期間を通じて、下表のとおり、新聞、雑誌、ラジオ、チラシ、ポスター、行政だより、国際交流機関広報誌、ホームページなどでの周知広報を実施しました。
- ・ メディアを活用した広報について、新聞は5紙に広告を掲載、雑誌は地域情報誌2誌に広告を掲載、ラジオは約1ヶ月にわたり広告を放送する等、広く周知するよう配慮しました。また、外国の方々に対する広報として、福岡県、福岡市の国際交流機関広報誌へのP I活動に関する告知の掲載（英語、中国語、韓国語）、約2週間にわたるラジオ放送（英語、中国語、韓国語、フランス語）などを行いました。
- ・ チラシについて、福岡空港や福岡県内及び県外（佐賀県）の主要駅等計20ヶ所の街頭及び県内市町村、中学校・高等学校・大学等へ約60,000部を配布しました。
- ・ 行政だよりについては、福岡県だよりとふくおか市政だよりの2種類の広報誌を活用し、福岡県だよりについては福岡県内全域、ふくおか市政だよりについては福岡市内全域を対象に全戸配布を実施しました。このほか、福岡市内を対象にしたケーブルテレビ放送を活用しました。

表 周知広報活動

手 法	実施回数 実施箇所	実施場所・実施日	参加者または 資料配布数
新聞広告	5回	5紙（読売、朝日、毎日、西日本、日経）、 半5段広告（6/27～7/7）各紙1回	—
雑誌広告	2回	2誌 あんふあん 1/3 広告（7/7 発行） 7パソティ福岡 1/2 広告（7/20 発行）	あんふあん：4.7万部 7パソティ福岡：14.5万部
ラジオ広告	40回	2局（FM福岡、RKB）20秒広告 （7/6～8/3）（平日20日間） 1本/日×20日間×2局	—
ラジオ放送	8回	1局（LOVE-FM）2～3分（7/3～7/6、7/10～7/13） 1本/日（英語、中国語、韓国語、フランス語）	—
チラシ配布	—	・20ヶ所（福岡空港や福岡県内及び県外（佐賀県）の主要 駅等）での街頭配布（6/27～7/1、7/7） ・県内市町村、中学校・高等学校・大学等配布	60,000部
ポスター配布	—	・県内市町村、中学校・高等学校・大学等に配布	1,100部
行政だより配 布等	—	・福岡県だより1回（7/1発行） ・ふくおか市政だより1回（6/15発行） ・J:COM 福岡、FCV 10分広報番組 （8/11～8/17）3回/日×7日間×2局	福岡県だより：約200万部 市政だより：約70万部 J:COM、FCV：52万世帯
国際交流機関 広報誌	—	・こくさいひろば（（財）福岡県国際交流センター） 1回（7月発行） ・レインボー（（財）福岡国際交流協会） 1回（7月発行）	こくさいひろば：英語4,500部、中 国語2,000部、韓国語2,000部 レインボー：英語5,000部、中国語 1,500部、韓国語1,500部

(2) P I レポートに関する情報提供及び意見収集

- PI(ステップ2)実施計画に基づき、平成18年7月10日より、福岡空港の総合的な調査に係るPI(ステップ2)に関する情報提供及び意見収集を、下表のとおり実施しました。
- 福岡空港や福岡県内及び県外(佐賀県)の主要駅等計20ヶ所において、約20,000部のPIレポート(ステップ2)を街頭配布しました。また、県内市町村、中学校・高等学校・大学等への配布や、福岡空港、福岡県庁、福岡市役所、九州地方整備局の4ヶ所にインフォメーションコーナーを設置し、定常的な情報提供を実施し、合計約60,000部を配布しました。さらに、ステップ2での新たな取り組みとして、PIレポート英語版の作成、大学や福岡市区役所でのパネル展示などを実施しました。
- また、説明会、懇談会、オープンハウスなどを開催するとともに、要望により、個別説明会も実施しました。さらに、ステップ2での新たな取り組みとして、シンポジウムや、グループヒアリングを実施しました。

表 P I レポートに関する活動結果

手法	実施回数 実施箇所	実施場所・実施日	参加者または 資料配布数
P I レポート	—	・20ヶ所(福岡空港や福岡県内及び県外(佐賀県)の主要駅等)での街頭配布(7/10～7/16)	60,000部
		・県内市町村、中学校・高等学校・大学等配布 ・インフォメーションコーナー等情報提供窓口への設置 ・ホームページ掲載(7/10～)※P I レポート英語版も掲載	—
シンポジウム	1回	○エルガーラホール(7/31)	370人
インフォメーションコーナー	4ヶ所	○福岡空港(7/10～11/14) ○福岡県庁(7/10～11/14) ○福岡市役所(7/10～11/14) ○九州地方整備局 博多港湾・空港整備事務所(8/1～11/14)	6,935人 (福岡空港7/10～11/14)
ホームページ	—	・P I (ステップ2)の周知広報開始(6/27～11/14)	10,279アクセス (6/27～11/14)
説明会	5回	○北九州国際会議場(7/25)	43人
		○アクロス福岡(7/26)	42人
		○のがみプレジデントホテル(8/1)	57人
		○くるみホール(8/9)	54人
		○まどかピア(8/10)	47人

(3) 寄せられたご意見

- ・ ホームページやP Iレポートの街頭配布、インフォメーションコーナー、福岡空港見学会、説明会、懇談会、オープンハウスなどの活動を通じて配布した意見記入はがき等により、9月末までに1,344人の方からご意見が寄せられました。
- ・ 寄せられたご意見の概要とそれに対する福岡空港調査連絡調整会議の考え方については、『福岡空港の総合的な調査に係るP I（ステップ2）に寄せられたご意見とそれに対する考え方』としてとりまとめ、10月31日に公表しました。
- ・ なお、以下のとりまとめにあたっては、10月以降に寄せられた意見（8人、33件）を加え、とりまとめております。

(4) 『「福岡空港の総合的な調査に係るP I（ステップ2）に寄せられたご意見とそれに対する考え方」に対するご意見募集』により寄せられたご意見

- ・ 福岡空港の総合的な調査に係るP I（ステップ2）に寄せられたご意見を集約し、ご意見に対する福岡空港調査連絡調整会議の考え方をとりまとめ、『「福岡空港の総合的な調査に係るP I（ステップ2）に寄せられたご意見とそれに対する考え方」に対するご意見募集』を平成18年11月1日（水）から平成18年11月14日（火）まで実施しました。
- ・ ご意見募集では、20人の方からご意見が寄せられました（意見数は26件）。これを拝見したところ、P I実施主体の考え方を概ね理解いただいた上でのご意見をいただいたと考えております。

(5) まとめ

福岡空港の総合的な調査に係るP I（ステップ2）の活動は、P I（ステップ2）実施計画に則って、十分な周知広報の実施、多様で適切なP I手法の選定、わかりやすい情報の提供を実施し、寄せられたご意見とそれに対する考え方の公表を行うなど、中立、公正、適正な時間管理のもと実施できたものと考えております。

また、情報が市民等に十分に周知され、市民等から幅広くご意見が収集されたと考えられることから、P I（ステップ2）の目標は達成できたものと考えます。

なお、寄せられたご意見の中には、「近隣空港との連携方策に関する意見」や「現空港での滑走路増設や新空港建設に関する意見」などP I（ステップ3）以降の内容についてのご意見も多く見られました。P I（ステップ3）以降の実施に際しては、「福岡空港の総合的な調査に係るP I（ステップ2）に寄せられたご意見とそれに対する考え方」でお示ししたとおり、今回寄せられたご意見等も踏まえ、みなさんが参加しやすく、ご意見を寄せやすいよう、さらに工夫して参りたいと考えます。

(6) 福岡空港調査P I有識者委員会による評価・助言

次ページのとおり。

平成18年12月22日

福岡空港調査連絡調整会議 御中

福岡空港調査P I 有識者委員会
委員長 石 田 東 生

福岡空港の総合的な調査に係るP I（ステップ2）の実施結果
に関する評価等について

福岡空港の総合的な調査に係るP I（ステップ2）の実施結果について、平成18年12月8日に当委員会を開催し、平成18年12月6日に提出された「福岡空港の総合的な調査に係るP I（ステップ2）実施報告書」及び当委員会が行った実施状況把握に基づき、下記の通り評価及び助言を行うことを決定したので通知します。

記

1 評 価

P I活動の実施については、P I実施計画（ステップ2）に則って、十分な周知広報の実施、多様で適切なP I手法の選定、分かりやすい情報の提供を実施するとともに、収集した意見とそれに対する考え方を公表するなど、中立、公正、適正な時間管理のもと実施できたものと認められることから、適切なものであったと評価します。

また、情報が市民等に十分に提供され、市民等から幅広く意見が収集されたと考えられることから、P I（ステップ2）の当初の目標は達成されたと評価します。

2 助 言

- 1) P Iで提供される情報については、市民等へ十分に情報が伝わるよう、より分かりやすいP Iレポートの作成等に努めること
- 2) P I手法については、これまで実施された企画の結果を踏まえながら、情報がより広く届くための工夫を行うこと
- 3) 懇談会等においては、参加者層に応じた情報提供に努めるとともに、一方的な説明にならないよう、双方向性も考えながら意見交換の促進に努めること
- 4) 専門的な知識が求められる事柄については、市民等の理解を高めるための工夫を行うとともに、これまでに提供された情報も含め、必要に応じて丁寧な説明を行うこと

5 福岡空港調査P I有識者委員会規約

(趣旨)

第1条 この規約は、福岡空港の総合的な調査において、福岡空港調査連絡調整会議（以下「調整会議」という。）が行うパブリック・インボルブメント（以下「P I」という。）に係るプロセスの透明性、客観性及び公正性を確保することを目的として設置された、福岡空港調査P I有識者委員会（以下「委員会」という。）の所掌事務、委員の構成その他運営に関する事項について定めるものとする。

(所掌事務等)

第2条 委員会は、次の事務を所掌する。

- (1) P I実施計画に関する評価
- (2) P I実施段階における監視
- (3) P I実施結果に関する評価
- (4) その他委員会の目的実現のために必要な事項

2 前項のほか、委員会は必要がある場合は、調整会議に対してP Iプロセスに関して助言を行い、調整会議は委員会からの助言に対応する責務を負うものとする。

(委員の構成)

第3条 委員会は、所掌事務の遂行に必要な専門的知識及び福岡空港が抱える課題への対応策について中立的かつ客観的な考え方を有する有識者で構成し、別紙の通りとする。

2 委員の変更に際しては、委員会の承認を必要とする。

(第三者性)

第4条 委員は、特定の行政機関及び特定の利害関係者の利益を代表してはならない。

(委員の任期)

第5条 委員の任期は、委員会の所掌事務が完了するまでとする。

(委員長)

第6条 委員会に委員長をおく。

- 2 委員長は、委員の互選により選任する。
- 3 委員長は、会務を総理する。
- 4 委員長が職務を遂行できない場合は、あらかじめ委員長が指名する委員がその職務を代理する。

(委員会の運営)

第7条 委員会は、委員長の発議により開催する。

2 委員会は、委員の過半数の出席をもって成立する。

3 委員会は、調整会議に対して委員会の会議への出席及び委員会の運営に必要な資料の提出を求めることができる。

(守秘義務)

第8条 委員は、個人を識別させる情報、個人の権利利益を害する恐れのある情報等を漏らしてはならない。

2 前項の規定は、委員の職を退いた後も同様とする。

(委員会の公開)

第9条 委員会は、特段の理由がある場合を除き、原則として公開とする。

(庶務)

第10条 委員会の庶務は福岡市が行う。

(その他)

第11条 この規約に定めのない事項は、委員会が定める。

付 則

この規約は、平成16年12月9日に施行する。

この規約は、平成19年5月11日に施行する。

<委員名簿>

別紙

福岡空港調査 P I 有識者委員会委員

(五十音順)

氏 名	職 業
石 田 東 生	筑波大学大学院システム情報工学研究科教授
杉 尾 政 博	西日本新聞社特別顧問
竹 林 幹 雄	神戸大学大学院工学研究科准教授
藤 田 和 子	公認会計士
山 本 智 子	弁護士

6 本実施計画に係る福岡空港調査P I有識者委員会の評価書

平成19年5月25日

福岡空港調査連絡調整会議 御中

福岡空港調査P I有識者委員会
委員長 石 田 東 生

福岡空港調査P I（ステップ3）実施計画（案）に関する評価等について

平成19年4月27日付で送付のあった福岡空港調査P I（ステップ3）実施計画（案）については、平成19年5月11日に当委員会を開催し、下記の通り評価及び助言を行うことを決定したので通知します。

記

1 評 価

福岡空港調査P I（ステップ3）実施計画（案）については、基本的にはステップ1及びステップ2の実施計画を踏襲しながら、これまでのP I実施によって得られた市民からの意見及び過去のステップでの経験を踏まえ、市民相互間等の双方向のコミュニケーションに配慮した手法やステップ3の提供情報に応じた手法を設けるなどの工夫がなされており、P Iの進捗に伴う進化が認められることから、本計画は適切なものであると判断します。

2 助 言

- 1) P Iレポート等の情報提供にあたっては、提供する情報が市民等に有用であるかどうか吟味するとともに、アカウンタビリティ（説明責任）確保の観点から、市民等から詳細な情報提供の求めがあった場合にはP I活動の中で柔軟に対応すること。
- 2) 過去のP Iのステップで実施していた「寄せられたご意見とそれに対する考え方の公表」後の「意見収集」については、実効性が伴っていないことが認められるので行わないこととするが、P I実施中に「寄せられたご意見とそれに対する考え方」について市民等が意見を提出できるような意見収集の仕組みとすること。
- 3) P I手法にある「総合懇談会」については、他のP I手法と同等の位置づけであることや「多様な立場の方々が議論を交わす場」であることを表すようなネーミングとすること。
- 4) P I手法のうち、説明会などで市民等に意見を求めるときは、発言に時間制限を設けるなど、発言者の機会の公平性を保つ工夫を行うこと。
- 5) 福岡空港の利用実態を考慮し、外国人向けの情報提供・意見収集について引き続き努めること。

7 関係機関のホームページ、情報提供窓口等

(1) ホームページ

○福岡空港調査連絡調整会議 <http://www.fukuokakuko-chosa.org/>

(2) P I 計画、P I 実施計画冊子等の情報提供窓口

※ ☆印の窓口では、福岡空港調査連絡調整会議で報告された調査報告等の閲覧が可能です。

○国の機関

- ・国土交通省九州地方整備局（空港 P T 室）

〒810-0074 福岡市中央区大手門 2－5－3 3

TEL(092)752-8601

FAX(092)724-2480

- ・国土交通省大阪航空局（空港企画調整課）

〒540-8559 大阪府中央区大手前 4－1－7 6

TEL(06)6949-6469

FAX(06)6949-6218

○福岡県機関

- ・空港対策局空港計画課

県庁舎行政棟北側 9 階

〒812-8577 福岡市博多区東公園 7 番 7 号

代表TEL(092)651-1111 内線2686

直通TEL(092)643-3172

- ☆・県民情報センター

県庁舎行政棟北側 1 階

〒812-8577 福岡市博多区東公園 7 番 7 号

代表TEL(092)651-1111 内線2459

直通TEL(092)643-3108

- ・北九州県民情報コーナー

県小倉総合庁舎 2 階

〒803-0813 北九州市小倉北区城内 7 番 8 号

TEL (093)581-4934

- ・筑後県民情報コーナー

県久留米総合庁舎 1 階

〒839-0861 久留米市合川町 1 6 4 2 番地の 1

TEL (0942)30-1030

- ・筑豊県民情報コーナー

県飯塚総合庁舎 1 階

〒820-0004 飯塚市新立岩 8 番 1 号

TEL (0948)29-5459

- ・京築県民情報コーナー 県行橋総合庁舎 1 階
〒824-0005 行橋市中央 1 丁目 2 番 1 号
TEL (0930)23-9189

○福岡市機関

- ・総務企画局 空港将来方策担当
〒810-8620 福岡市中央区天神 1 丁目 8 - 1
TEL (092)711-4102

- ☆・情報プラザ 〒810-8620 福岡市中央区天神 1 丁目 8 - 1
TEL (092)733-5333

- ・東区役所 企画課
〒812-8653 福岡市東区箱崎 2 丁目 5 4 - 1
TEL (092)645-1012

- ・博多区役所 企画課
〒812-8512 福岡市博多区博多駅前 2 丁目 9 - 3
TEL (092)419-1011

- ・中央区役所 企画課
〒810-8622 福岡市中央区大名 2 丁目 5 - 3 1
TEL (092)718-1013

- ・南区役所 企画課
〒815-8501 福岡市南区塩原 3 丁目 2 5 - 1
TEL (092)559-5017

- ・城南区役所 企画課
〒814-0192 福岡市城南区鳥飼 6 丁目 1 - 1
TEL (092)833-4009

- ・早良区役所 企画課
〒814-8501 福岡市早良区百道 2 丁目 1 - 1
TEL (092)833-4307

- ・早良区入部出張所 〒811-1102 福岡市早良区東入部 2 丁目 1 4 - 8
TEL (092)804-2011

- ・西区役所 企画課
〒819-8501 福岡市西区内浜 1 丁目 4 - 1
TEL (092)895-7007

- ・西区今宿出張所 〒819-0166 福岡市西区横浜 1 丁目 2 - 1
TEL (092)806-0004

(本冊子等についての問い合わせ先)

国土交通省九州地方整備局（空港 P T 室） TEL (092)752-8601

国土交通省大阪航空局（空港企画調整課） TEL (06)6949-6469

福岡県企画振興部空港対策局空港計画課 P I 担当
代表TEL(092)651-1111 内線2686
直通TEL(092)643-3172

福岡市総務企画局空港将来方策担当 TEL (092)711-4102